

2019年度 秋季（10月）入学

大学院医学系研究科  
博士課程教育リーディングプログラム

# 学 生 募 集 要 項

〔一般入試〕

国立大学法人

滋 賀 医 科 大 学

# 目 次

## プログラム概要

博士課程教育リーディングプログラムについて . . . . .	1
---------------------------------	---

## 学生募集要項

募集人員 . . . . .	3
入学時期	
出願資格	
出願資格審査 . . . . .	4
出願手続 . . . . .	5
選抜方法等 . . . . .	7
合格者発表 . . . . .	8
入学手続等 . . . . .	9
個人情報の取扱い . . . . .	10
学内の略図 . . . . .	11

## 入学案内

目的 . . . . .	12
構成	
授業科目及び単位数表 . . . . .	13
履修方法	
主な研究内容等	
学位授与	
別表1 授業科目及び単位数表 . . . . .	14
別表2 主な研究内容等 . . . . .	15

## 博士課程教育リーディングプログラムについて

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する文部科学省による事業です。

養成すべき人材像及び解決すべき課題の分類に応じ、「オールラウンド型（オールラウンドリーダー養成）」「複合領域型（複合領域リーダー養成）」「オンリーワン型（オンリーワンリーダー養成）」の3つの類型があり、滋賀医科大学の「アジア非感染性疾患（NCD）超克プロジェクト」はオンリーワン型として平成25年度に採択されました。

博士課程教育リーディングプログラムでは、次のような力量を備え、広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーを養成することを明確に設定しています。

### 【広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーに求められる能力】

- ① 確固たる価値観に基づき、他者と協働しながら、勇気を持ってグローバルに行動する力
- ② 自ら課題を発見し、仮説を構築し、持てる知識を駆使し独創的に課題に挑む力
- ③ 高い専門性や国際性はもとより幅広い知識をもとに物事を俯瞰し本質を見抜く力 など

## 博士課程教育リーディングプログラム アジア非感染性疾患(NCD)超克プロジェクト

以下のような人材（リーダー）を養成します。

- 1) 非感染性疾患（NCD）に関する医学的知識、疫学方法論、生物統計学の高度な技術、アジアの公衆衛生改善に対する構想力を兼ね備えた、バランスのとれたリーダー
- 2) 英語コミュニケーションに熟達し、論理的議論ができる国際人（グローバルリーダー）
- 3) 大規模疫学研究、国際共同研究を体験し、一流の研究能力をもつアカデミックリーダー
- 4) 健康関連産業や保健医療行政機関で活躍する現場力を持つダイナミックリーダー
- 5) 産学官を横断する人的ネットワークをもつリーダー

### アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

アジア非感染性疾患（NCD）超克プロジェクトは、文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」事業のオンリーワン型として平成 25 年度に採択された大学院博士課程のプログラムです。非感染性疾患（Non-Communicable Diseases、NCD）は、がん、脳心血管疾患およびその危険因子である糖尿病・高血圧・脂質異常症など生活習慣病の増加という形で顕在化し、アジア新興国において特に深刻な健康問題となってきました。本プロジェクトは、本学アジア疫学研究センターをはじめとする充実した生活習慣病疫学研究の基盤を活用し、アジア新興国における NCD 問題の解決と健康寿命の延伸を推進するトップリーダーを育成するプロジェクトです。履修においては、アジアをはじめとする異文化社会に適応できる協調性を有し、英語による講義・実習に対応できる語学力を持つことが必要です。アジアにおける NCD の克服のための強い意欲と高い使命感・倫理観を持ち、行動するリーダーを目指す人材を求めます。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

英語で論理的議論ができるグローバルリーダーを養成する目的で、英語コミュニケーションを重視したプログラムを編成します。アジア疫学研究センターを中核にすえ、非感染性疾患（Non-Communicable Diseases、NCD）に関する医学的知識、疫学的方法論、生物統計学の高度な技術、アジアの公衆衛生改善に対する構想力を兼ね備えたバランスある学術能力を養成するカリキュラムを実施します。アジアからの留学生と日本人学生がグループを組み国内外の教員と議論しながら自発的に学ぶ少人数ワークショップや、アジアおよび欧米諸国での短期研修・フィールドワークを実施し、国際的センスをもつ「行動するトップリーダー」の育成を行います。

### ディプロマ・ポリシー（課程修了認定・学位授与方針）

博士課程教育リーディングプログラムのカリキュラム・ポリシーに沿った教育研究課程を履修し、必要な単位を修得し、国際的学術誌に博士論文を公表した上で、外国人を含む外部評価委員を加えた審査委員会での最終試験に合格することが博士号取得の要件です。非感染性疾患（Non-Communicable Diseases、NCD）に関する医学的知識、疫学的方法論、生物統計学の高度な技術、そしてアジアの公衆衛生のリーダーたる構想力の3つを兼ね備え、英語コミュニケーションに熟達し、英語で論理的議論ができるとともに、アジアをはじめとする世界で活躍できる実行力と協調性・倫理性を身につけていることが修了の基準です。

# 学生募集要項

## 募集人員

医学専攻 先端医学研究者コース

博士課程教育リーディングプログラム アジア非感染性疾患 (NCD) 超克プロジェクト

若干名 (一般入試によるもののみ)

(備考) 在職のままに就学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第14条による『教育方法の特例』を適用し、「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法による」教育を取り入れています。ただし、実習の科目についてはこの限りではありません。

## 入学時期

2019年10月 (注意) 以降、本要項に記載のある日時はすべて日本時間による。

## 出願資格

1. 大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の薬学、獣医学を履修する課程を卒業した者及び2019年9月までに卒業見込みの者
2. 外国において、学校教育における18年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者及び2019年9月までに修了見込みの者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者及び2019年9月までに修了見込みの者
4. 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
5. 修士課程を修了した者又は修士の学位を有する者と同等以上の学力がある者で、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者等昭和30年4月8日文部省告示第39号及び平成元年9月1日文部省告示第118号により文部科学大臣の指定した者
6. 修業年限が6年の大学(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学し、当該大学を卒業していない者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めた者
7. 外国において学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国におい

て履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めた者

8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学又は修業年限6年の薬学、獣医学を履修する課程に限る。）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2019年9月30日において24歳に達している者

(注) 1. 社会人入学を希望できる者は、上記のいずれかに該当する者で、出願時に既に就業しており入学後も引き続き職業を有し、所属長から在職のまま就学することの承諾が得られる者としてします。

2. 出願資格5から8のいずれかにより出願する者については、次のとおり「出願資格審査」を実施します。

## 出 願 資 格 審 査

出願資格5から8のいずれかにより出願しようとする者は、出願資格審査を受ける必要がありますので、次により申請をしてください。

また、出願資格審査で「資格あり」とされた場合、引き続き第1次選考を実施しますので、6ページの出願書類等も併せて送付してください。

### 1. 申請書類

- (1) 出願資格5の場合は、次の①から③と6ページの出願書類等
- (2) 出願資格6、7の場合は、次の①から⑤と6ページの出願書類等
- (3) 出願資格8の場合は、次の①から④と6ページの出願書類等
  - ① 出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
  - ② 研究業績（本学所定の用紙Form D）
  - ③ 成績証明書（出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。なお、大学院修士課程修了（見込）者にあつては、当該研究科の長が作成し厳封した成績証明書を併せて添付してください。）
  - ④ 推薦書（本学所定の用紙 Form F。出身大学の教員又は、研究所、医療機関等の指導者等が作成したもの3名分。）
  - ⑤ 在学大学の教育課程表（写）及び授業計画書〔シラバス〕（写）

### 2. 申請期間

2019年6月10日（月）～21日（金） 午後5時（必着）

3. 申請書類の提出先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 入試課入学試験係

電話 077-548-2071 (直通)

FAX 077-548-2799

E-mail hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp

(注) 持参する場合の受付時間は、土曜日及び日曜日を除く日の午前9時から午後5時までです。

4. 資格審査

資格審査は、提出された申請書類により行います。ただし、必要に応じ面接等を行うことがあり、この場合は、改めて申請者に通知します。

5. 審査結果

審査結果の通知は、2019年7月9日(火)頃に、申請者宛に通知します。

なお、「資格なし」とされた場合は、当該審査に使用しなかった書類等を別途、返送します。

## 出 願 手 続

1. 出願期間

2019年6月10日(月)～21日(金) 午後5時(必着)

2. 出願書類の提出先及び照会先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 入試課入学試験係

電話 077-548-2071 (直通)

FAX 077-548-2799

E-mail hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp

3. 出願書類等（※は本学所定の用紙）

書 類 等	備 考
1 入学志願票 ※	推薦者は出願者の出身大学の教員又は、研究所、医療機関等の指導者等。 Form A
2 履歴書 ※	Form B
3 英語小論文 ※	Form C
4 研究業績 ※	Form D
5 英語能力評価表 ※	Form E
6 推薦書 ※	入学志願票に記入した推薦者が作成したもの3名分を厳封して提出してください。 Form F
7 成績証明書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。本学卒業（見込）者は不要です。 なお、大学院修士課程修了（見込）者は、出身大学院（研究科）の長が作成し厳封した成績証明書も併せて提出してください。
8 卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学（学部）長が作成したもの。本学卒業（見込）者は不要です。 なお、大学院修士課程修了（見込）者は、出身大学院（研究科）の長が作成した修了（見込）証明書のみを提出してください。
9 検定料納付確認書（巻末に綴込み） ※	入学検定料 30,000 円を、検定料振込用紙（本学所定の用紙・巻末に綴込み）を使用し、2019年5月27日（月）から6月21日（金）の期間に銀行で振込んだ後、収納印を受けた「振込金受領証明書」を貼付してください。
10 受験票・写真票 ※	写真（3か月以内に撮影した正面上半身、無帽、縦4cm×横3cmのもの）を写真欄に貼付してください。
11 あて名票 ※	合格通知を受ける宛先を記入してください。台紙は、はがさないでください。
12 受験票送付用封筒 ※	宛先を記入し、362円分の切手を貼付してください。
13 所属長の受験許可書	現に大学院に在学中の者（2019年9月までに修了見込の者は除く。）及び官公署、医療機関、会社等に在職中の者のみ。 （本学に在職中の者は不要です。）（別添様式例参照）

- (注) 1 出願書類のForm A～Fについては本学インターネットホームページ <https://www.shiga-med.ac.jp/admission/graduate/requirements.html> からダウンロードしてください。
- 2 出願後における記載事項の変更は認めません。また、受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず返還できません。
- 3 出願資格審査を受ける場合、上記の出願書類等のうち当該審査のための申請書類と重複するものについては、合わせて1通（部）の提出で構いません。
- 4 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。



#### 4. 出願方法

##### (1) 郵送の場合

出願書類等を取りまとめ、**本要項添付の所定封筒**により『書留・速達郵便』で送付してください。

##### (2) 持参の場合

5ページの「出願手続2の提出先」に持参してください。

受付時間は、土曜日及び日曜日を除く日の午前9時から午後5時までです。

#### 5. 留意事項

(1) 受験票は、7月9日（火）頃までに、志願者宛に発送します。7月12日（金）までに到着しない場合は、5ページの「出願手続2の照会先」まで至急連絡してください。

(2) 障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、出願に先立ち5ページの「出願手続2の照会先」まで申し出てください。

##### (3) 入学検定料返還該当者への返還手続きについて

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下に該当しない者は理由の如何を問わず返還は行いません。該当する者は、5ページの「出願手続2の照会先」へ2019年7月22日（月）までに申し出てください。

- ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ者
- ③ 検定料を払い込んだが出願資格審査で「資格なし」とされた者

## 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、次のとおり第1次及び第2次の選考により実施します。

なお、社会人入学希望者に対して別途社会人特別選抜は行いません。本試験にて選抜します。

#### 1. 第1次選考

出願者全員について書類選考を実施し、提出された入学志願票、履歴書、研究業績、成績証明書、英語能力評価表及び英語小論文等により可否を判定します。

## 2. 第2次選考

第1次選考の結果、合格とされた者について、学力検査、面接及び出願書類等を総合して合否を決定します。

### (1) 学力検査等の日時・項目等

月 日	時 間	学 力 検 査 等
9月5日(木)	10:00～11:30	外国語(英語)
	12:30～13:30	小論文
	14:00～	面接(個人)※

- (備考) 1. 「外国語(英語)」には、辞書(電子辞書類を除く)の持ち込みを許可します。  
2. 学力検査に使用できるのは、黒鉛筆(シャープペンシル可)、鉛筆削り(電動式を除く)、消しゴム、メガネ、時計(計時機能のみ)に限ります。  
3. ※面接は英語で実施し、本プログラムの学生となるにふさわしい資質や適性等について評価します。

### (2) 試験場

滋賀医科大学(11ページの「学内の略図」を参照してください。)

詳細については、第1次選考の合格者発表後に通知します。

## 合格者発表

第1次選考 2019年7月22日(月) 午前10時(予定)

第2次選考 2019年9月13日(金) 午前10時(予定)

1. 入学試験掲示場(11ページの「学内の略図」を参照)及び本学インターネットホームページ(<https://www.shiga-med.ac.jp/admission/graduate/result.html>)において合格者の受験番号を発表します。
2. 第1次選考の合格者には合格した旨を通知する文書を通知します。7月26日(金)までに到着しない場合は、5ページの「出願手続2の照会先」まで至急連絡してください。
3. 第2次選考の合格者には「合格通知書」及び入学手続書類等を送付します。
4. 合否についての電話による問い合わせには一切お答えできません。

## 入学手続等

### 1. 日 時

#### ・持参の場合

2019年9月19日(木) 午前9時～午後5時

ただし、やむを得ない事情により上記指定日に手続ができない場合は、下記2へ上記時間内に連絡のうえ、2019年9月20日(金)の午前9時から午後5時の間に手続を行ってください。

#### ・郵送の場合

2019年9月20日(金) 午後5時必着

郵送の場合は、2019年9月19日(木)午後5時までに下記2へ連絡してください。

### 2. 手続場所(郵送先)

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 入試課入学試験係 電話 077-548-2071(直通)

### 3. 納付金等

(1) 入学料 282,000円

(2) 授業料 267,900円(後期分)

① 詳細については、第2次選考の合格者に別途通知します。納付金が改定された場合は、改定後の金額を適用します。

② 後期分の授業料は、本学所定の振込依頼書により2019年10月中に納付していただくこととなります。

③ 授業料については、年額を納付することができます。

④ 授業料が在学中に改定された場合は、改定時から新しい授業料を適用します。

### 4. 納付金の免除等

入学料及び授業料には免除及び徴収猶予の制度があり、これに関する手続等については、第2次選考の合格者に別途通知します。

### 5. 提出書類等

入学手続に必要な書類やその他詳細については、第2次選考の合格通知書を送付する際にお知らせします。

### 6. 留意事項

(1) 入学手続には、受験票が必要ですので、紛失しないように注意してください。

(2) 上記の期限までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

## 個人情報の取扱い

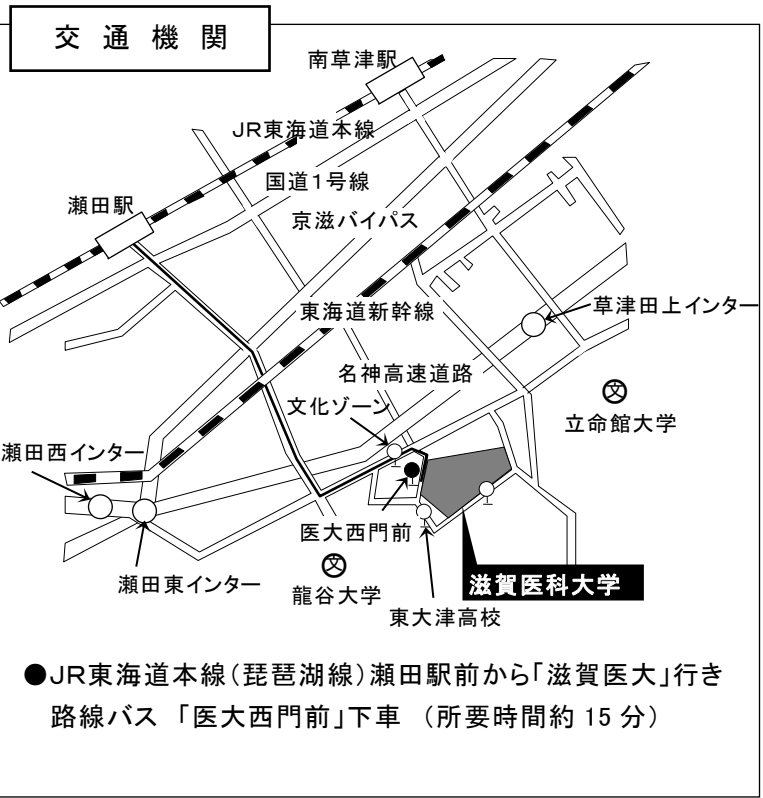
本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、次のとおり取り扱いますので、予めご了承ください。

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人滋賀医科大学の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規程」に基づいて取り扱います。
2. 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
3. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
4. 出願書類等に記載された個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

# 学内の略図



- ① 一般教養棟
- ② 基礎研究棟
- ③ 基礎講義実習棟
- ④ 福利棟
- ⑤ 臨床研究棟
- ⑥ 臨床講義棟
- ⑦ 管理棟・保健管理センター
- ⑧ 図書館・マルチメディアセンター
- ⑨ 看護学科棟



# 入学案内

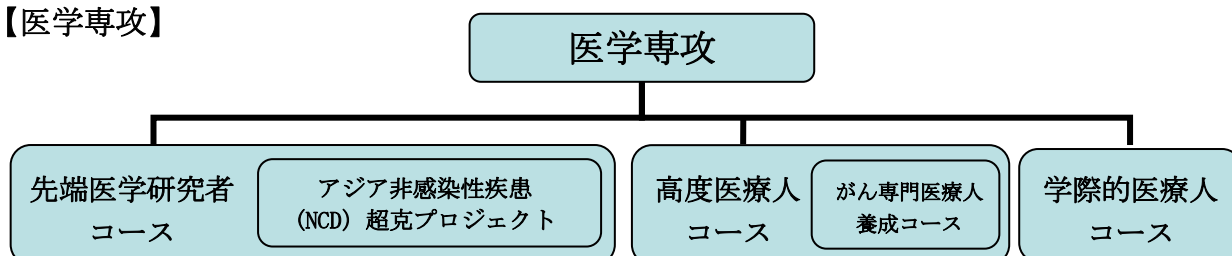
## 目的

大学院医学系研究科（博士課程）は、医学の領域において、研究者として自立して創造的研究活動を行うのに必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識及び人間性を備えた優れた研究者を育成することを目的とし、医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを使命とします。

## 構成

- ・ 1専攻、3コースにより編成されています。
- ・ 先端医学研究者コースに博士課程教育リーディングプログラム「アジア非感染性疾患（NCD）超克プロジェクト」を設置しています。
- ・ 高度医療人コースに「がん専門医療人養成コース」を設置しています。

### 【医学専攻】



本専攻では、①豊かな学識と医学全般に渡る幅広い知識を基盤とし、先端的で特色ある研究を遂行できる、医学研究者及び高度医療人 ②医学と工学、医学とバイオテクノロジーのような学際的知識と研究能力を兼ね備えた人材 ③豊かな学識と人間性および高い倫理観を備えた優れた医師および医学研究者の育成を目的として、3つのコースを設けています。

#### 【先端医学研究者コース】

- ： 基礎医学から臨床医学まで医学の領域に関する医学研究を行い、博士論文を作成して学位の取得を目指します。
- ① 医学研究者として自立して創造的研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基盤となる豊かな学識と倫理観および人間性を備えた優れた研究者
  - ② 旺盛なる探求心と創造性を有し、基礎医学から臨床医学まで医学領域の諸問題の解決に挑戦する意欲的な人材の育成
  - ③ 国際的に活躍できる最先端の知識と研究能力を有する医師/医学研究者の育成

#### 【高度医療人コース】

- ： 専門医取得を目指しながら、主として臨床研究を行い、博士論文を作成して学位の取得を目指します。
- ① 優れた研究能力に加えて高度な臨床技術を兼ね備え、高い倫理観と人間性を有する高度医療人
  - ② 臨床の現場での課題を研究に生かすとともに、研究の成果を臨床医学に生かして、新しい診断法や治療法の開発につなげる医学研究の展開を目指す
  - ③ 臨床研究に重点を置くとともに、医療倫理や法制論を学び、医療現場でリーダーとして活躍できる人材を育成

#### 【学際的医療人コース】

- ： 医学と他分野との融合による新しい学問分野の創成や医療イノベーションに関する研究を行い、博士論文を作成して学位の取得を目指します。医学部以外の出身者に配慮した授業科目を設置しています。
- ① 医学、工学、バイオテクノロジーなど、従来の学問領域の枠を越えた学際的な知識と高い研究技術を有するとともに医療人として高い倫理観と人間性を兼ね備えた研究者
  - ② 学際的な知識と研究能力によって医学・医療の領域のイノベーションを担う人材
  - ③ 基礎医学と臨床医学に関する幅広い知識に加え、学際的な視野と研究能力を有し、大学・企業等の研究所で活躍できる研究者

以下は、先端医学研究者コースの博士課程教育リーディングプログラム  
「アジア非感染性疾患（NCD）超克プロジェクト」についての案内です。

### 授業科目及び単位数表

別表1のとおり。

### 履修方法

1. 第1学年、第2学年、第3学年、第4学年において、コア領域の必修科目から16単位、選択必修科目から4単位、支援領域の選択必修科目から2単位、実習の必修科目から6単位、選択必修科目から2単位を履修するものとします。なお、カリキュラムは変更する場合があります。
2. 第2学年から指導教員の指示の下、他機関等での研修を行い、研究課題に即した研究指導を受けるとともに、自発的な研究活動に専念し、研究者として自立して独創的な研究活動を行うために必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養います。
3. 第2学年終了時において、研究基礎力試験：QE（Qualifying Examination）を実施します。QEは博士論文研究を主体的に遂行できる基礎力を身につけているか包括的に審査する仕組みです。第1学年および第2学年に履修した必修科目の筆記試験と研究計画の発表、および口頭試問を行います。
4. 上記2における他機関等での研修（実習の科目）は大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用しておりません。実習の科目ごとに1～3ヶ月に渡る実地実習となるため、社会人入学者の場合は休職等して履修する必要があります。

### 主な研究内容等

別表2のとおり。

### 学位授与

1. 修業年限は4年を標準とします。
2. 学位の種類は、「博士（医学）」とし、学位記に「アジア非感染性疾患(NCD)超克プロジェクト修了」を附記します。
3. 学位は、大学院に4年以上在学し、上記履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、論文審査及び最終試験に合格した者に授与します。

別表 1

## 授業科目及び単位数表

医学専攻 - アジア非感染性疾患 (NCD) 超克プロジェクト -

領域	スクラ	授業科目名	授業を行う年次	単位数			備考
				講義	演習	実習	
コア領域	ク ラ ス タ 公 衆 衛 生	公衆衛生学概論	1	2			必修
		保健医療行政論	2	2			
		研究計画の鍛錬	2		2		
	ク ラ ス タ 医 学 統 計	疫学研究概論	1	2			必修
		臨床試験概論	1	2			
		生物統計学概論	1	2			
	ク ラ ス タ N C D 疫 学	循環器疾患・神経疾患疫学総論	1	2			選択必修
		がん・呼吸器疾患疫学総論	1	2			
		糖尿病・腎臓病疫学総論	1	2			
		社会疫学総論	2	2			
	ク ラ ス タ 国 際 交 流	アジア文化・倫理の理解	1		2		必修
		発表技法と熟議	2		2		
支 援 領域	ク ラ ス タ N C D 臨 床	循環器疾患・神経疾患臨床総論	1	1			選択必修
		がん・呼吸器疾患臨床総論	1	1			
		糖尿病・腎疾患臨床総論	2	1			
ク ラ ス タ 海 外 技 術 支 援	医療技術開発と海外技術移転	2	1			選択必修	
	地域医療・看護学概論	2	1				
	基礎医学概論	1	1				
	産業医学	1		1			
実 習	学外研究機関短期研修	2			2	選択必修	
	健康関連産業研修	2			2		
	アジア・フィールドワーク	3			2	必修	
	学外武者修行	4			4		



## 主な研究内容等

【 本学所属教員 】

(平成31年4月1日 現在)

所属	部門、領域等	職名	氏名	主な研究内容等
医療文化学講座	哲学	教授	室 寺 義 仁	1. ブッダの人生と教え 2. 大乘仏教の哲学 3. 生命倫理と医の倫理 4. アジアの文化と諸宗教
	英語	教授	相 浦 玲 子	1. ロマン派研究 2. 異文化理解 3. 医学英語教育 4. ジョージ・マクドナルドの死生観
生理学講座	統合臓器生理学	教授	等 誠 司	1. 神経幹細胞の発生・維持・分化のメカニズム解析 2. 中枢神経系の再生戦略開発 3. 精神疾患の病態解明
生化学・分子生物学講座	分子生理化学	教授	縣 保 年	1. エピジェネティックな遺伝子発現とがん化の制御機構 2. 染色体高次構造変化による遺伝子発現とがん化の制御機構 3. iPS細胞を用いたがん特異的T細胞の再生
	分子病態生化学	教授	扇 田 久 和	1. がん、循環器疾患におけるシグナル伝達機構と遺伝子解析 2. 細胞接着の分子機構
薬理学講座	-	教授	西 英 一 郎	1. 膜タンパク質細胞外ドメイン切断の分子機構および生物学的役割の解明 2. 転写コレグレーターによる代謝調節機構の解明 3. 心血管病、がん、炎症性疾患におけるメタロプロテイナーゼの役割の解明
社会医学講座	公衆衛生学	教授	三 浦 克 之	1. 循環器疾患・生活習慣病の疫学 2. 循環器疾患・生活習慣病の予防医学 3. 栄養疫学
		准教授	門 田 文	1. 糖尿病・循環器疾患・生活習慣病の疫学 2. 糖尿病・循環器疾患・生活習慣病の予防医学 3. 潜在性動脈硬化症に関する疫学研究
	医療統計学	准教授	田 中 佐 智 子	1. 疾病発生予測モデルの構築 2. 疫学研究デザインと解析手法の開発 3. 薬剤疫学研究
	衛生学	准教授	埜 田 和 史	1. 作業関連性筋骨格系障害の予防 2. ヒューマンサービス労働衛生学的研究 3. 障害者をめぐる保健医療の社会医学 4. 農業労働の人間工学 5. 高齢者・女性の労働衛生学
内科学講座	循環器	教授	中 川 義 久	1. 虚血性心疾患の冠血行再建 2. 動脈硬化性疾患の一次・二次予防 3. 至適抗血栓療法
	呼吸器	教授	中 野 恭 幸	1. 肺の構造と機能に関する研究 2. 呼吸器疾患における構造と機能に関する研究
	消化器、血液	教授	安 藤 朗	1. 腸管粘膜における免疫応答に関する研究 2. 腸内細菌叢の異常とIBDの病因に関する研究 3. サイトカインネットワークに関する研究
	糖尿病内分泌、腎臓	教授	前 川 聡	1. 代謝疾患と栄養の研究 2. インスリン抵抗性発症機構 3. 糖尿病発症関連遺伝子
		准教授	荒 木 信 一	1. 糖尿病性腎症の発症機構の解明 2. 糖尿病血管合併症のリスク因子の探索 3. 腎病態栄養学
脳神経内科	教授	漆 谷 真	1. 筋萎縮性側索硬化症の分子標的治療 2. 神経変性疾患の細胞生物学的解析 3. 神経疾患の非侵襲的診断	
外科学講座	消化器、乳腺・一般	教授	谷 眞 至	1. 膵切除術における合併症予防に関する臨床研究 2. 消化器癌に対する免疫療法の開発 3. 膵機能に関する研究 4. 消化器癌転移メカニズムの解明 5. 手術手技に関する介入研究 6. 癌と線維芽細胞との相互作用
	心臓血管、呼吸器	教授	鈴 木 友 彰	1. 冠動脈バイパスモデルの研究 2. 心臓大血管手術の長期予後の研究 3. 僧帽弁形成の術式および長期予後の研究 4. 急性大動脈手術の研究および長期予後の研究
脳神経外科学講座	-	教授	野 崎 和 彦	1. 脳虚血の病態と治療に関する研究 2. 脳動脈瘤の病態と治療に関する研究 3. 脳動静脈奇形の病態と治療に関する研究
産科学婦人科学講座 (母子診療科、女性診療科)	-	教授	村 上 節	1. 産婦人科低侵襲手術（子宮鏡・腹腔鏡・ロボット手術） 2. 子宮内膜症・子宮腺筋症 3. 生殖内分泌学・不妊症
放射線医学講座		講師	大 田 信 一	1. 臨床応用するためのIVRの基礎研究 2. 腹部画像診断法の研究

## 【本学所属教員】

(平成31年4月1日 現在)

所属	部門、領域等	職名	氏名	主な研究内容等
臨床腫瘍学講座	-	教授	醍醐 弥太郎	1. 新規がん関連遺伝子の同定と機能解析による発がん機構の解明 2. ゲノミクス、プロテオミクス解析による体系的がん進展機構の解明 3. がんの新規分子標的治療薬（低分子・抗体・核酸医薬）、がんペプチドワクチンの開発とトランスレーショナルリサーチ 4. がんの個別化医療に向けたバイオマーカーと分子病態診断システムの開発とトランスレーショナルリサーチ
医療情報部	-	准教授	杉本 喜久	1. 医用電子工学 2. 医療情報システム 3. 循環器系の生体工学
臨床研究開発センター	-	教授	久津見 弘	1. レギュラトリーサイエンス 2. 新規医療開発 3. 消化器内視鏡
神経難病研究センター	橋渡し-神経診断治療学	教授	遠山 育夫	1. アルツハイマー病の病態解析と診断・治療法の開発 2. 認知症の予防法と先制医療に関する研究 3. 神経疾患のMR画像診断 4. 神経疾患の分子生物学的研究
	橋渡し-MR医学研究	准教授	椎野 顯彦	1. 分子標的薬の開発 2. 脳MR画像診断のためのプログラム開発 3. MRスペクトロスコピー 4. 神経病変の診断と診療研究
臨床看護学講座	成人看護学	教授	宮松 直美	1. 成人期の健康障害と生活環境要因との関連についての疫学研究 2. 循環器疾患の一次予防および再発予防のための介入効果の検証
公衆衛生看護学講座	-	教授	伊藤 美樹子	1. 要介護高齢者と介護家族の共生に関する研究 2. 慢性疾患患者（児）の長期生活予後、有効なライフスキルに関する研究

## 【他機関所属教員】

所属	部門、領域等	職名	氏名	主な研究内容等
ピッツバーグ大学	-	准教授	関川 暁	1. 慢性疾患の日米国際比較疫学
インペリアル・カレッジ・ロンドン	-	教授	PAUL ELLIOTT	1. 循環器疾患の疫学 2. 栄養疫学 3. 国際共同疫学研究
滋賀県	健康医療福祉部	次長	角野 文彦	1. 公衆衛生行政 2. 感染症疫学
(独) 国立健康・栄養研究所	国際産学連携センター	センター長	西 信雄	1. 生活習慣と肥満の地域格差および年次推移
愛知県がんセンター研究所	遺伝子医療研究部	部長	松尾 恵太郎	1. がん疫学 2. 分子疫学
ジョンズホプキンス大学	-	准教授	松下 邦洋	1. 循環器疫学（冠疾患・心不全・末梢動脈疾患） 2. 慢性腎臓病疫学 3. リスク予測 4. 糖尿病・肥満・アディポカインの疫学
福岡大学	医学部	教授	有馬 久富	1. 循環器疾患・生活習慣病の疫学 2. 循環器疾患の臨床試験 3. メタ・アナリシス
国立循環器病研究センター	分子生物学部	部長	大野 聖子	1. 循環器疾患のゲノム疫学 2. 遺伝性循環器疾患の研究
和歌山県立医科大学	医学部	教授	藤吉 朗	1. 生活習慣病・脳心血管病の疫学 2. 冠動脈石灰化 3. 軽度認知機能障害と動脈硬化関連指標との関連
オムロン（株）	技術・知財本部	技術専門職	中嶋 宏	1. 睡眠・食事・運動等、生活習慣や血圧のビッグデータ解析 2. 医療や生活習慣改善を支援する指標等の研究開発
グラクソ・スミスクライン（株）	開発本部ヘルスアウトカムズ部	部長	貝瀬 俊彦	1. 疾患疫学（呼吸器疾患、がん、糖尿病など）

# 検定料振込用紙等

- ※1 下切り取り以下の用紙により、2019年5月27日(月)から6月21日(金)の期間に振り込んでください。
- 2 右の台紙に「振込金受領証明書」を貼り付けたものを関係書類と共に送付してください。

## 検定料納付確認書

この枠内に振り込み後の「振込金受領証明書」を貼り付けてください。

### C 振込金受領証明書 (大学提出用)

金額	¥30,000-
受取人	滋賀医科大学 (フリガナ) 志願者氏名

取扱銀行収納印

1

### A 振込金(兼手数料)受領書 (本人保存)

依頼日	年 月 日
金額	¥30,000-
先 方 銀 行	滋賀銀行・瀬田駅前支店
	関西みらい銀行・草津南支店
	三菱UFJ銀行・草津支店
受取人	滋賀医科大学 志願者氏名(フリガナ)
消費税込 手数料	円

上記の金額正に受取りました。

取扱銀行収納印

銀行

支店

2

印 紙

### B 電信扱 振込依頼書 (取扱店保存)

○右記取りま とめ銀行の うち一つを 選び	依頼日	年 月 日	振込指定	電信扱	消費税込 手数料	円
	先 方 銀 行		預金種目	口座番号	金額	¥30,000-
	滋賀銀行・瀬田駅前支店		普通	0146970	内 現 金 当 手 枚 他 手 枚	10,000 0 000 100 00 5,000 0 000 50 0 2,000 0 000 10 0 1,000 0 000 合計 500 00 000 0
	関西みらい銀行・草津南支店		普通	0514443		
三菱UFJ銀行・草津支店		普通	1102147			
受取人	シカ・イカタ・イカ・ク 滋賀医科大学			金種内訳		
ご依頼人	志願者氏名(フリガナ): もれのないよう打電してください。			取扱銀行収納印		
	氏名(漢字)			3		
	住所 〒					
	TEL					

◎取扱銀行へのお願い

- ①太線内を必ず打電してください。
- ②金額の訂正はできません。
- ③収納印は1・2・3にもれなく正確に押印し、A・C票は必ず依頼人にお返しください。
- ④滋賀銀行以外の銀行・信用金庫から振り込まれる場合は手数料が必要です。
- ⑤本振込依頼書は、2019年6月22日以降は取り扱わないでください。







## 入学者選抜等に関する照会先

滋賀医科大学 入試課入学試験係

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL 077-548-2071

E-mail [hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp)

<https://www.shiga-med.ac.jp/>